

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	寄生虫検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	後期 火曜日	教室名	901,902
担 当 教 員	寺本 勲	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
寄生虫および寄生虫症を知った上で、臨床検査現場で役に立つ知識を習得させる。 さらに国家試験対策と実際の臨床検査の双方に役立つものになりたい						
《成績評価の方法と基準》						
出席および筆記試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント(国家試験既出問題 等) 医動物学 最新版 吉田幸雄・有菌直樹・山田稔 著 南山堂						
《授業外における学習方法》						
教科書を読み込む事 国試問題について自学する						
《履修に当たっての留意点》						
日本で生活している限りにおいて、寄生虫症との関わりは限定されているので、学生諸氏においては常識としての知識が少ない。教科書をよく読み、理解して下さい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	寄生虫の形態、生活史、寄生虫病の症状、検査法 等を理解する(1)蠕虫類	教科書	2年次の復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	教科書を参考に復習する ・各種蠕虫の生活史とヒトでの感染			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	寄生虫の形態、生活史、寄生虫病の症状、検査法 等を理解する(1)蠕虫類	教科書	2年次の復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	教科書を参考に復習する ・各種蠕虫の生活史とヒトでの感染			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	寄生虫の形態、生活史、寄生虫病の症状検査法 等を理解する(2)原虫類	教科書	2年次の復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	教科書を参考に復習する ・赤痢アメーバ、ランブル鞭毛虫、膾トリコモナス、トリパノソーマ類			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	寄生虫の形態、生活史、寄生虫病の症状検査法 等を理解する(2)原虫類	教科書	2年次の復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	教科書を参考に復習する ・マラリア原虫とマラリア、その他の孢子虫類			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の既出問題をとりあげ、回答を導く過程を理解する	過去問プリント	2年次の復習	
	講義形式	各コマにおける授業予定	教科書を参考に既出問題に回答する形式により進める			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の既出問題をとりあげ、回答を導く過程を理解する	過去問プリント	2年次の復習
		各コマにおける授業予定	教科書を参考に既出問題に回答する形式により進める		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の既出問題をとりあげ、回答を導く過程を理解する	過去問プリント	2年次の復習
		各コマにおける授業予定	教科書を参考に既出問題に回答する形式により進める		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の既出問題をとりあげ、回答を導く過程を理解する	過去問プリント	2年次の復習
		各コマにおける授業予定	教科書を参考に既出問題に回答する形式により進める		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の既出問題をとりあげ、回答を導く過程を理解する	過去問プリント	2年次の復習
		各コマにおける授業予定	教科書を参考に既出問題に回答する形式により進める		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の既出問題をとりあげ、回答を導く過程を理解する	過去問プリント	2年次の復習
		各コマにおける授業予定	教科書を参考に既出問題に回答する形式により進める		
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			